



# [2026年2月 月間予定表 -木幡校-]



## 2月の予定

1	日	
2	月	
3	火	
4	水	16:30～開校
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	『超・図形特訓』(柳沢北校にて)
9	月	
10	火	私立高校入試開始
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	18:30～開校
15	日	
16	月	公立高校前期入試
17	火	公立高校前期入試
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	定期テスト攻略講座 (木幡中対象)
22	日	定期テスト攻略講座 (木幡中対象)
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	2025年度授業終了
		新年度準備期間
3/6	金	2026年度授業開講

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

## 【12月度のMVP】

- 小6 A・Hくん
- 小6 T・Tくん

冬期講習期間、受験に向けて積極的に自習に来ていました。合格おめでとう！よく頑張ったね！

### ●高1 O・Rさん

部活動の両立が大変な中での毎日の冬期講習、よく頑張りました！

## 2月行事について

### ●私立・公立入試

いよいよ始まる高校入試。今年の受験生もよく勉強しました。あとは全力を出し切るのみ！

### 【健全な大人に】

保護者の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年同様、今年も変わらずお付き合い頂けますよう、よろしくお願ひいたします。さて、受験シーズン到来。この時期はもう定番になりつつありますか… 私から受験生へメッセージです。

受験生へ

今君たちは、まちがいなく人生の分岐点に立っています。

どの道を選べば正しいというわけではなく

どの道を選んでも失敗したり後悔したりするかもしれない…。

だから、どういう結果になれ、できる限り、自分自身が納得できるような、今でありたい。どうしても自分の希望を叶えたいのと同時に、なによりも後悔したくはないから。そういう思いが、君たちを受験勉強に駆り立てるのでしょうか。

私たちはそんな君たちに勉強を教えることしかできません。

入試で頻出の問題の解法や学校では習わないテクニックなど…

時間のない君たちに教えなければいけないことは尽きません。

でも本当のことを言うとね、君たちに伝えたいことはそんなことじゃないんです。私が本当に君たちに伝えたいこと、それは…

「目の前にある、今あなたがしなければいけないこと  
それを手を抜かずしに全力で取り組みなさい」

人はその時その時にしなければいけないことが、それぞれにあって、そこで手を抜く人が、ずっと先にある大きな夢を叶えることなんてできません。小さなこともできない人に、大きなことができるはずもありませんから。

だから君たちには、今のうちにそのことを教えておいてあげたいのです。理屈ではなくて経験を通して、当たり前の習慣にしておいてあげたいのです。

急げる人には急け癖がついてしまうから。投げ出す人には逃げ癖がついてしまうから。歳を重ね気がつけば、上を向いて歩けていない、そんな大人に…。

そうなってしまうともう手遅れなんです。

もう負け癖、あきらめ癖がついてしまっているから…。

小さなころからそんな大人をあまりにも多く見すぎて…

そんな魅力のない大人にだけはなりたくない…

その反省でここまでやってきました。

だから私は君たちをそういう風に育てたくはないのです。

厳しさは指導目的が明確な証。強さはいくたびもの挫折を経験してきた証。

わかりやすさは妥協せず教務職を全うしてきた証。優しさは深い悲しみを知ってしまったから…。

私は今まで、なんとなく教壇に立ったことは一度たりともありません。

自分の役割にボリシーと使命感を持って、君たちの前に立ち続けています。

そんな背中を見せてやれたなら…

私の一番のメッセージ、少しは君たちに届くかなあ。

そうそう、先日、昔の教え子が、ふと会いに来てくれました。

実に6年ぶりです。大きく立派に育っていました。

あんなにやんちゃだった子が、ここまで成長して…

その教え子が、私に繰り返し言うのです。

「勉強しておいてよかった」「勉強させてくれてとても感謝している」と。

お世辞にも勉強がよくできた生徒ではありませんでした。

それでも泣こうがわめこうがスバルタで教えこんで、なんとか志望校に合格させました。その生徒が、6年の歳月を経て、「勉強しておいてよかった」と言うのですよ。

私は何か小さなご褒美をもらった気がしました。

この教え子に「あなたがしていることは間違っていない」と背中を押してもらったようで。

2月。いよいよ受験も冬の寒さも大詰め。

大丈夫、ここまで頑張ってきた君たちですもの。

心配しないで。

寒さの中にしっかりと春の予感が充満しているから。

塾長 山田 大介

